

令和元年7月23日  
厚生労働省大臣官房地方課

医師国家試験事業外11試験事業における民間競争入札実施要項の変更及び  
変更契約について

- 医師国家試験事業外11試験事業に係る試験会場の設置については、例年多数の国家試験が集中する2月期に於いて、全12職種の国家試験の厳正な実施に努めているところであり、その中で、各試験会場での当日の交通機関の乱れ、受験者の体調不良、苦情等の不測事態への対応を、限られた体制の中で迅速に行うため、試験会場の数については必要最小限の設置としている。
- 保健師助産師看護師国家試験については、北海道、青森、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡、沖縄で実施しているところであるが、今般、新潟県から、以下の理由により速やかな新潟会場の設置要望があった。
  - ・通常、新潟県の学生は、試験前日から東京で宿泊し受験しているが、平成26年の大雪により新潟から東京会場までの交通が途絶し到着が遅れ、当日朝、約550人を超える受験者が殆ど睡眠を取れないまま受験せざるを得なかった事例が生じたこと
  - ・前泊にかかる旅費や宿泊費等の負担が大きいこと
  - ・学校数、受験者数ともに増加していること 等
- 新潟県の要望のとおり、平成26年2月の看護師国家試験に於いて、大雪の影響により、試験会場までの移動に相当の時間を要し、万全な体調で受験できなかった方が多数生じ、追加試験を行ったところであり、会場設置の必要性が認められる。
- 今般の新潟会場設置については、医道審議会保健師助産師看護師分科会の答申を踏まえ決定したものである。
- 新潟会場の増設により、東京会場を受験を予定していた受験生のうち一部が新潟会場を受験することとなるため、受験者総数への影響はなく、また、必要経費も新潟会場での費用増と東京会場の費用減により極力影響を最小限にするよう考えている。

今年度の予定人規模は以下を見込んでいる。

(増設前予定人規模)	(増設後予定人規模)
保健師 3,130 人(東京)	3,130 人(東京 2,480 人、新潟 650 人)
助産師 660 人(東京)	660 人(東京 530 人、新潟 130 人)
看護師 20,460 人(東京)	20,460 人(東京 17,760 人、新潟 2,700 人)